

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	平成28年度第9回松阪市スポーツ推進計画策定委員会
2. 開催日時	平成29年2月23日(木) 午後4時~5時15分
3. 開催場所	松阪市本町2176番地 松阪市産業振興センター2階 人材育成講座室
4. 出席者氏名	平岡委員長以下委員(10名) 柰子、山中、山田、小畑、大山、前田、中西、浦田 平賀
5. 公開及び非公開	全部公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	松阪市教育委員会スポーツ振興課

協議事項

- 1:1 (1) パブリックコメント結果について
(2) 松阪市スポーツ推進計画(最終案)について
- 2:その他

議事録

別紙

松阪市スポーツ推進計画策定委員会議事録

と き 平成29年2月23日(木)
午後4時00分～5時15分
と ころ 松阪市産業文化センター2F
人材育成講座室

(策定委員) 平岡委員長、李子副委員長、前田、浦田、中西
平賀、山中、山田、小畑、大山(10人)
(事務局) 山口、橋本、北川

- 1 : 1 (1) パブリックコメント結果について
(2) 松阪市スポーツ推進計画(最終案)について
2 : その他

(平岡委員長)	本日、スポーツ推進計画策定委員会にご出席いただきましてありがとうございます。本日第9回目ということになります。本日も宜しくをお願いします。
(事務局) 課長	皆様、お忙しい中ありがとうございます。先月急きょ延期させていただき、委員の皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。今回が最後の委員会となります。どうぞ宜しくをお願いします。
(事務局) 北川	約1ヶ月の間で、事務局の間でも修正等させていただいた部分、パブリックコメントご意見の反映などをさせていただいた部分について、順番にご説明させていただきます。それでは、事項書に沿ってご説明させていただきます。まず、10月17日から11月15日の約1ヶ月の期間で実施したパブリックコメントの結果は、この委員会終了後に、ホームページ等で公表させていただく予定であります。実施状況についてですが、男女各1名ずつ合計で2名の方からご意見をいただきました。頂いた意見については、A～Eの区分分けを行いました。Aの意見の趣旨を反映し、加筆・修正したものについては、2件。Bの事業実施にあたって考慮すべく事柄として参考とするものは1件。Cの既に記載済みまたは対応済みのものは、1件、Dの意見を反映することが困難なものは0件、Eのその他・要望・意見等は2件ということで分けさせていただきました。1. 子どもの時期のスポーツへの関わりが、重要であるため幼少期から体を動かすことなど地域でも親子で楽しんで取り組める環境づくりを

お願いしたい。という意見でした。処理区分としては、Cの既に記載済みまたは対応済みという処理で、計画案の第4章の具体的な施策・取組の重点施策として記載がありますので、Cとさせていただきます。2. スポーツ施設の充実として屋内温水プールの建設を望む。高齢者の意見として、全身運動としての水泳により、長寿命化につながるのではないか。という意見でした。処理区分としては、Eのその他・要望・意見等という処理で、計画案のP30 第4章 具体的な施策・取組みの4. スポーツ施設の整備・運営①市民ニーズを考慮した施設整備の重点施策としてスポーツ施設の充実を図ってまいります。施設を具体的に列挙することは困難であるため、ご意見として承り、Eとさせていただきます。3. 学校のプール事業等について、民間施設のプールを活用していくという答申がなされているが、その時に高齢者との世代交流ができる形態をとることはできないか。という意見でした。処理区分としては、Eのその他・要望・意見等という処理で、学校教育としての小学校プールの活用の方針や内容となるため、関係部署等へ貴重なご意見として報告させていただくということで、Eとさせていただきます。4. 学校単位で気軽に取り組める生涯スポーツの出前事業などを、地域と行政を結ぶコーディネーターとして位置づけされるスポーツ推進委員で実施してはどうか。処理区分としては、Bの事業実施にあたって考慮すべく事柄として参考とするものという処理で、計画案のP26 第4章 具体的な施策・取組みの2. ライフステージに応じたスポーツ活動の推進③地域のスポーツ環境の充実の重点施策と関係する事象として今後の参考とさせていただくということで、Bとさせていただきます。5. 計画案のP9のスポーツの施設名で、ネーミングライツの（命名権）の施設もあるため、市民により浸透させるために併記する必要はないかと意見でした。市内のスポーツ施設で現在3施設（さんぎんアリーナ・松阪牛の里オーシャンファーム武道館・513 BAKERYスタジアム松阪）については処理区分を、Aの意見の趣旨を反映し、加筆・修正したものということで意見として反映させていただきました。6. 計画案のP11の公共施設マネジメントの意味が分からないので、P33の用語解説に追記する必要はないかという意見の概要でした。処理区分としては、Aの意見の趣旨を反映し、加筆・修正したものということで反映させていただきました。もう一つが第2章から始まるのページの図の説明書きですが、前田委員からのご意見で図の下に番号とその説明として統一させていただきました。計画案のP32 第5章の計画の指標の数値を前回の委員会の後、総合計画との整合性を図るために、修正させていただきましたので、順番にご説明させていただきます。第4章の具体的に取組む施策の中で、4つの推進施策の柱の

中でそれぞれ2項目ずつ目標値を設定させていただきました。まず1. 子どものスポーツ機会の充実では、小学5年生の1週間の運動時間の割合が60分未満の割合と総合型地域スポーツクラブの認知度の2つとなっております。この2つの項目については、現状値・目標値とも前回と変更はありません。次の2. ライフステージに応じたスポーツ活動の推進では、20歳以上の市民が週1回以上スポーツを行う割合と自身の体力に対する自信についての2つとなっております。前回は、20歳以上の市民が週1回以上スポーツを行う割合が国の目標値となっている国民3人に2人の割合の65%としておりましたが、57%と数値目標を修正させていただきました。現状値については、市民意識調査のP72の結果の数値とし、目標値については、推進計画の最終年度の38年度に65%に達成するためには、アンケート実施年度の26年度からすると38年度は11年後となり、22.6%上昇しなければならず、22.6%を11年間で割ると、1年間に2.05%の上昇が必要。26年度から起算して33年後は7年後となるので、 $2.05\% \times 7 \text{年間} = 14.35\%$ を目標値にあげて $42.4\% + 14.35\% = 57\%$ とさせていただきました。2つ目の自身の体力に対する自信については、前回と修正はありません。次に3. スポーツの関心への向上では、スポーツボランティア参加率(年1回以上)は、現状値が2.6%。前回の目標値が10%だったのですが、修正し30%とさせていただきました。アンケート結果より、参加したい3.2%と機会があれば参加したい25.4%の合計30%弱ありましたので、このパーセンテージの人を可能な限り取り込むということで、30%とさせていただきました。松阪シティマラソンの参加者数については、現状値2,525人は、第11回大会の参加者数で、目標値は、総合計画に順じて、3,500人とさせていただいてあります。次に、4. スポーツ施設の利用向上と運営では、公共スポーツ施設を利用している市民の割合は、現状値14.9%。目標値30%。これは、本計画P10あまり利用していないと答えた人18.2%を取り込み、約30%を目標値とさせていただきました。次に、体育施設予約システムの認知度は、現状値11.5%。目標値60.0%にさせていただきました。これは、アンケート結果P32の知らないと答えた人の86.8%から取り込んだかたちの目標値とさせていただきました。5年後の、計画案の見直しの際には、目標値の再設定も必要ではないかと思えます。前回からの大幅な修正については、以上となります。後、細かな言い回しや、誤字・脱字等も修正させていただいております。

前田委員

本文のP6ですが、「2014年度(平成26年度)全国体力・運

	<p>動能力、運動習慣調査（文部科学省）」の結果によるとありますが、これは結果と比較した場合の方がと表記した方が正しくないですか。この結果と比較して松阪市の数値が低いという事を表しているのではないですか。</p>
(事務局) 北川	<p>この全国調査として、松阪市も実施しているので、比較するとという表記ではなく、結果を削除して、によるととした方が表現は正しいと思います。</p>
<p>金子副委員長</p>	<p>単純に、結果を削除するだけで良いと思います。一般的には全国的に調査したものについて、別で調査を行い比較するというケースは多いんですが、この場合は、調査依頼が来て答えた結果を使用しているということです。あと、P 2 4 の生涯スポーツの推進というところで、一つ気になったことがあります。元々は、軽スポーツという部分を修正いただいたところだと思いますが、冒頭に、生涯スポーツはレクリエーション的要素があり、特別な技術や体力を必要としないことから、誰もが気軽に行えるスポーツとして定着しています。とあり、この内容はタイトルが軽スポーツであれば内容に問題はないと思うのですが、生涯スポーツと変えてしまったので、少し文面が分かりづらく、誤解を招く表現になってしまっています。ですので、生涯スポーツはレクリエーション的要素があり、特別な技術や体力を必要としない誰もが気軽に行えるスポーツが定着しています。と改めた方が良いと思います。今、生涯スポーツとして普及しているのは、誰もが気軽に取り組めるものであり、そこの部分を重点的に取り組んでいくんだという趣旨になっているんだと思います。</p>
(事務局) 橋本	<p>生涯スポーツという意味が、捉え方によるとマラソンを生涯スポーツだと考える人もいるし、また先ほど言われたレクリエーション的要素のあるグラウンドゴルフやシャフルボードなどを生涯スポーツと捉えている人もいるというところをどの様に表記するかだと思います。</p>
<p>金子副委員長</p>	<p>事務局が言われるように、生涯スポーツと一括りにすると難しいと思います。生涯スポーツとしての捉え方の概念が違ってきています。ただここで言いたい事は、生涯スポーツの中で、気軽に取り組めるものが定着していると言うことが言いたいので、このあたりをうまく盛り込んで表記するという事だと思います。手軽に取り組めるものが、普及しているというニュアンスが伝われば良いと思います。</p>

<p>(事務局) 橋本</p>	<p>レクリエーション的スポーツとはっきり区別してしまうというのは難しいのでしょうか。例えば、レクリエーション的スポーツの普及であるとか。</p>
<p>杵子副委員長</p>	<p>でも、元は軽スポーツでありましたから。</p>
<p>(事務局) 橋本</p>	<p>選手の時代、指導者の時代という風に、自分のライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方、これも生涯にわたりスポーツに携わっていくということでは、生涯スポーツといえますので、この部分を含んだ内容がわかる表現を加えた方が良いのではと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>杵子副委員長</p>	<p>原文からすると、そのような内容は排除されてしまいます。</p>
<p>平賀委員</p>	<p>P 3 3 の用語解説の生涯スポーツの意味はよく分かります。</p>
<p>山中委員</p>	<p>松阪市レクリエーション協会としても目的は、この用語解説の通りです。</p>
<p>平賀委員</p>	<p>この用語解説のくだりである生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも」気軽に参加できるスポーツを先に記載し、またで続けて、レクリエーション的要素のある誰もが気軽に取り組めるものもあります。具体的な種目を載せるかは、私には判断はできませんが。レクリエーション的要素ということであれば、特別な体力や技術を必要としなということがほしいので、具体的な種目を入れて、それらが普及してきますとしてはどうでしょうか。</p>
<p>杵子副委員長</p>	<p>用語解説の中の生涯スポーツの説明は、この計画の中で使っている意味はこれで良いと思うんですが、一般的な用語解説で使用するには、少し難しいかなと思います。この用語解説を本文中に入れてしまって解説の項目から削除の方が良いと思います。この項目のタイトルは、生涯スポーツの推進という文言は残すにしても、本文中で記述のある中身であるとわかれば意味が通じると思います。具体的な種目を本文に記載することは、している人としていない人が存在するので、控えた方が良いと思います。用語解説のスポーツ基本法やスポーツ推進計画、スポーツ推進委員の説明の中で年度の表記ですが、これは年表記が正しいので、修正をお願いします。次に P 3 4 のバリアフリーの説明で、障がい者が建築物等を使おうとしたと</p>

	きに、邪魔になるとありますが、この表現を修正した方が良いのではないのでしょうか。
平賀委員	他の事例を参考にすると、障がいのある人や高齢者、社会的弱者が社会的生活に参加する上で、支障となるという風な説明が適切ではないのでしょうか。障がいのある人と限定するのは、適切ではないと思います。
中西委員	ネーミングライツの件ですが、前回のを修正して、併記して施設名の記載がありますが、これは併記しても問題はないですか。よく中体連の大会では、併記をせずにと言われていましたがその点どうなっていますか。1年間の併記は認めると聞いていましたが。当時の契約上問題なければ良いと思いますが、一度ご確認ください。
(事務局) 橋本	再度確認ですが、松阪市総合体育館（さんぎんアリーナ）とある場合は、松阪市総合体育館の方を消すということですね。
柰子副委員長	契約が途中で解除になったり、切れたりすることもありますので、安易にネーミングライツの愛称のみというのも、少し検討の余地はあると思います。5年後の見直し時に、契約が変更になって、異なる企業の愛称が付いている場合もありますので、何か行政の共通記載方法があると思いますので、一度事務局でご確認ください。
中西委員	同じく契約内容を確認してください。
大山委員	スポンサー側としては、広告の重要な部分になりますので、宜しくお願いします。
(事務局) 橋本	すいません。もう一度本文24ページの生涯スポーツのところを見て頂けますか。生涯スポーツの捉え方については、それぞれ異なると思います。タイトル自体を誰もが気軽に行えるスポーツとするのは、どうでしょうか。
柰子副委員長	そういう記載もあるとは思いますが。ただ、誰もが皆生涯かけてスポーツをやっていくときに、その重点として気軽に誰もが取り組めるものを市として重点的に推進していく考え方を提案しているという趣旨だと思うので、タイトルは、生涯スポーツの推進の方が良いと思います。競技志向のスポーツを生涯スポーツとして取り組んでいく人もいますが、それは個人でやっていくものとして捉え、普及や推進という観点で、スポーツに取り組む人口を増やしていく行政

	<p>の取り組みとして、気軽に取り組めるスポーツを推進していくという主旨になると思います。</p>
(事務局) 北川	<p>事務局よりご相談ですが、竹上市長のあいさつ文が、現在目次ページより後に挿入させていただいています。文字のサイズが他のページよりも大きく、統一がとれていませんが、文字サイズをそろえた方がよろしいでしょうか。</p>
平賀委員	<p>他の冊子でも、あいさつということで本文と区別して大きくしているところもありますので、これでもおかしくはないと思います。本文と区別するという点からみればこれでも間違いではないと思います。</p>
山中委員	<p>例えば、字は大きくてもいいが、もう少し視覚的に見てスマートな方が良くと思います。下の余白がもう少しあった方が良くはないでしょうか。</p>
柰子副委員長	<p>議論のページで見るとみると二つの表記がありますので、平仮名に修正をお願いします。</p>
(事務局) 北川	<p>表紙については、イラストでさせていただいてあります。人物については、肖像権のこともありますので、使用はしない予定です。</p>
柰子副委員長	<p>このイラストでは、犬の絵がありますが、それよりも人物の方が良いように思います。</p>
(事務局) 北川	<p>資料を見て頂きながら、ご確認してほしいのですが、今後のスケジュールは、この3月議会の中で、14日に開催される文教経済委員会協議会で、この案を報告させていただきます。3月1日に事前に議長・副議長にご報告させていただきます。そして翌日の教育委員会定例会で、報告をさせていただきます。そして、最後教育長に答申というかたちで、委員長ならびに副委員長に行っていただきます。3月21日の火曜日で、委員長より教育長に答申をしていただく予定です。今後は、この案を印刷させていただき、各小中学校をはじめとする各関係機関に200部を配布させていただきます。概要版はカラーで、本体は、内部に配布するというので、経費節減のため白黒でということを進めさせていただきます。また、ホームページからも閲覧できるようにさせていただきます。本日の修正案については、委員長に一任というかたちで、委員の皆様にはご理解いただきたいと思います。本来1年で完結する事業でありましたが、</p>

	<p>2 年、いろいろ議論を重ねていただいたおかげで、最初の案から比べると随分とそのご意見を反映することができました。委員長はじめ委員の皆様には、大変ご尽力いただきありがとうございました。今後も皆様には、同じスポーツに携わる者として、ご意見をいただきますよう宜しくお願いします。また、空子先生につきましては、公務ご多忙の中、副委員長をお受けいただき、誠にありがとうございました。事務局一同お礼を申し上げまして、最終の策定委員会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>
--	--